



日本選手団は10競技のうち、男子個人法形、女子個人法形、女子個人実戦、男子団体法形、女子団体法形、男子団体実戦、女子団体実戦、展開、女子展開の9競技で優勝を収めた。
 今大会出場の山梨県選手(写真左)成績
 ◆男子個人実戦競技:4位 土井嘉津也
 ◆男子団体実戦競技:優勝 JAPAN Aチーム 土井嘉津也・坂本稔
 ◆女子団体実戦競技:優勝 JAPAN Aチーム 石原安奈
 ◆展開競技:優勝 「主役」土井嘉津也、「1番」白倉繁、「2番」坂本稔、「3番」猪股美希、「4番」平田照彦、「5番」茂野元博



躰道

第7回 たいどう 世界躰道選手権大会

2017年7月30日(日) 小瀬武道館

今から1年半前、「界外で躰道を知ってもらいきっかけに」と日本開催が決定していた「第7回世界躰道選手権大会」。山梨での開催誘致に動いた山梨県躰道協会の思いが叶い、7月30日小瀬武道館において開催された同大会は12カ国が参加。国際大会特有の雰囲気の中、実戦・法形(ほうけい)・展の各競技で、世界一をかけた戦いが繰り広げられた。1チーム6名で構成「主役」と呼ばれる1名の選手が5名の「脇役」を倒す展開競技では、大会2連覇がかか山梨チームが、プレッシャーを感じながらも地元の声援を力に変えて優勝を果たした。今大会の実行委員長を務めた山梨県躰道協会の坂山宜弘さんは「彼らの涙を始めて見た。相当な圧を感じていたのだろう」と語った。

